## 学生団体Petite Archeが ベジブロスクッキング動画を制作

フードロスに着目し、野菜のあまり使われない部分を活用する方法を伝える動画を制作。動画では、ヘタや皮などを煮出してつくる出汁「ベジブロス」の作り方を紹介しています。“料理が好き”という思いと、社会問題をかけ合わせたいという視点から取り組み、第2回聖学院SDGsコンテストでは佳作に入賞しました。

動画は
こちらから！

## カードゲームを活用したSDGsの推進

本学では、複数の教職員が「2030 SDGs」カードゲーム※1と「SDGs de 地方創生」カードゲーム※2の公認ファシリテーター資格を取得しています。両カードゲームの定期的な実施を通じて、学内外でSDGsに対する理解を促進しています。

※1　SDGsの17の目標を達成するために、現在から2030年までの道のりを体験するゲーム
※2　SDGsの考え方を地域の活性化に活かし、地方創生を実現する方法について参加者全員で対話し、考えるためのゲーム

## SDGsとは？

2015年9月、全国連加盟国（193国）は、より良き将来を実現するために、15年をかけて極度の貧困、不平等・不正義をなくし、私たちの地球を守るための計画「アジェンダ2030」を採択しました。この計画が「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）」です。SDGsは、ミレニアム開発目標（MDGs）で十分に手を打てなかった課題に加え、Rio+20で議論された深刻化する環境課題など17の目標と169のターゲットに全世界が取り組むことによって『誰も取り残されない』世界を実現しようという壮大なチャレンジです。

（出典：グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン WEBサイト　http://www.ungcjn.org/）

貧困、飢餓の問題だけではなく教育のことや性的マイノリティー、ワークライフバランス、消滅可能性都市の問題など日本でも身近な問題が取り上げられています。このようにSDGsは、直接、間接を問わず世界中の人々の生活に関係している課題です。

2030アジェンダが掲げる17のゴール

国連広報センターより引用

## 聖学院大学のSDGsの取り組み

SDGsのD（Development）は、途上国のみならず、先進国においても、より良い社会に向けた「発展」が必要なことを意味しています。SDGsの意義は、国や文化を越えた「共通言語」として、多様な人々やアイデアを結びつける点にあります。そして、「知の共同体」たる大学には、地域と世界をつなげる拠点として、地域の市民や企業、団体、行政などが連携・協働するためのプラットフォームとなり、グローカルな役割を果たすことが求められています。2021年度は、前年度に引き続き、Goal 12「つくる責任つかう責任」を中心としました。学生主体の活動が拡大・発展し、学内の組織整備も進みました。大学全体でサステイナブルな取り組みを行っていくために、大きく前進した一年でした。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

学校法人聖学院は2018年4月、グローバル・コンパクトに署名・加入し、SDGsを目指した活動を行っています。2019年7月には第一回目のCOE（コミュニケーション・オン・エンゲージメント）を提出しました。

## 2022年4月、サステイナビリティ推進センター開設

本学では、2019年より、学生・教職員協働プロジェクトとして、教育、研究、地域貢献などさまざまな場面でSDGsを展開し、ワークショップなどを交えながら学内外にSDGsを浸透させていくことをめざしてきました。そして、SDGs推進をさらに活発化させるため、2022年4月より「サステイナビリティ推進センター」が始動します。本学内における連携をさらに深め、SDGs推進のための活動や「持続可能な開発のための教育」（ESD）を一層充実させるとともに、本法人内各校および学外諸機関とのコラボレーションの深化、さらに、自治体や企業体との連携のためのプラットフォーム構築といった諸課題を担います。

**SDGs & Seig Newsletter 2021-2022**
発行元：／聖学院大学SDGsプロジェクトチーム
発行日／ 2022年3月30日

このプロジェクトに参加を希望する学生は
**サステイナビリティ推進センター（1号館1階1103教室）**にご相談ください。

Love God and Serve His People
聖学院大学
一人を愛し、一人を育む。

お問い合わせ　入試・広報課　TEL 048-780-1707　月～金（9：00～17：00）
〒362-8585　埼玉県上尾市戸崎1番1号　MAIL:pr@seigakuin-univ.ac.jp
https://www.seigakuin.jp

# SDGs & Seig

Newsletter

2021-2022

Love God and Serve His People
聖学院大学
一人を愛し、一人を育む。

SDGsアクションプラン

# つくる責任 つかう責任

～「大量廃棄社会」から「持続可能な社会」への転換を目指して～

## 大学×学生×企業の取り組み

## 学食寄付メニュープロジェクト

聖学院大学ではSDGsの取り組みの一環として2021年12月6日から12月21日にかけて学食寄付メニューを提供しました。これは寄付メニューを食べることで途上国に学校給食一食分を寄付できるものです。

この取り組みは2019年に引き続き2回目の実施で、学食売上金の一部を国連WFP（World Food Programme：世界食糧計画）に寄付することで、世界の飢餓に苦しむ児童へ学校給食支援をすることができる仕組みを利用したものです。学生団体Petite Arche（プチ・アルシュ）と本学4号館の食堂を経営する株式会社レバスト、そして聖学院大学SDGsプロジェクトチーム（教職員組織）のコラボレーションとして実現しました。

現在、世界中では9人に1人が食糧不足、特に子供たち4人に1人が飢餓に苦しんでいる状況があり、そうした子供たちに栄養のある食事を届けることが緊急の課題となっています。

### 企画概要

期間：2021年12月6日（月）～12月21日（火）のウイークデー（～14：00）
※好評につき一部メニューを延長。2022年1月13日（木）～2月4日（金）
場所：聖学院大学4号館1階　学生食堂
企画：Petite Arche（学生団体）、株式会社レバスト、SDGsプロジェクトチーム（教職員）
寄付メニュー：スープ 200円（うち寄付金30円）※延長
アップルパイ（1個）　250円（うち寄付金30円）※延長
豆腐ドーナツ（5個）　150円（うち寄付金20円）
サービスセット 400円（うち寄付金30円）
サラダ 100円（うち寄付金20円）

**寄付金の総額　22,270円**（給食約750食分）

### プロジェクトに対するアンケート結果

プロジェクトに対する感想を抜粋で紹介します

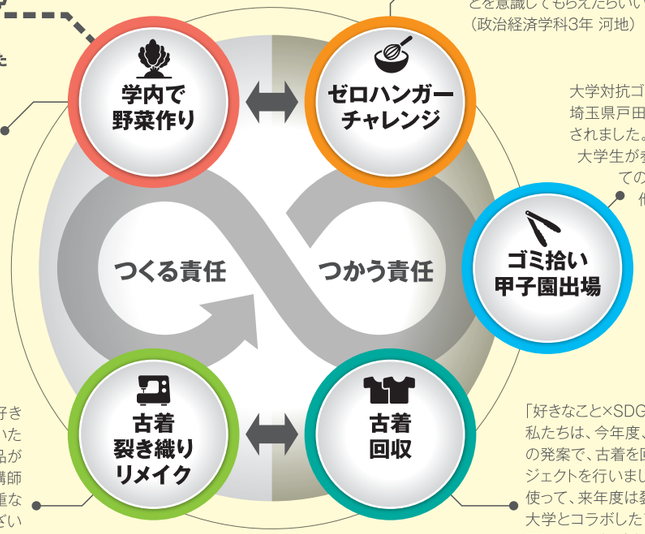
- スープもドーナツも美味しかったです。寄付メニューでなくても、単体で食べたいと思わせる仕上がりのメニューだったことが、とても良かったと思います。
- 自分にも寄付することで美味しい食べ物が食べることができてとてもありがたい活動だと思います。
- 国際的な問題に個人レベルで関われることがあるということを知れる良い試みだと感じた。
- 学食で購入することで寄付に参加できるのでありがたいです。
- いつもと違うメニューで楽しみながら世界の貧困について考え寄付もでき、良い企画だと思いました。アップルパイのイラストがホットパイだったので、寒い時期でもあり温かいパイを期待してしまいましたが、味は美味しかったです。
- とても良い企画だと思います。是非、続けてください。また利用したいです。

## 学生の取り組み

## 「好き」が活動の原動力

学生目線でSDGsを考え、推進する学生団体「Petite Arche（プチ・アルシュ）」です。私たちの"好き"にはSDGsのヒントが隠れています。"好き"をきっかけに、「持続可能な社会」を目指してみませんか?

学内で作った野菜は
「学食寄付メニュープロジェクト」でも使われました




活動の経緯は、野菜作りを通してSDGsのGoal12「つくる責任、つかう責任」を考えようという所から始めました。活動を通して、野菜を作ることの大変さを実感でたことで、野菜をムダなく使っていきたいと思いました。（政治経済学科2年 宗川）

Goal12「つくる責任、つかう責任」のターゲット8への取り組みとして、普段なら捨ててしまう野菜の皮や根を使ったフルコース料理を作る動画を作成しました。この動画を通して、1人でも多くの方に日常的に食材を無駄無くつかうことを意識してもらえたらいいなと考えています。（政治経済学科3年 河地）

大学対抗ゴミ拾い甲子園は、11月6日埼玉県戸田市の荒川親水公園で開催されました。全19大学総勢146人の大学生が参加しました。今年度初めての外部イベント参加でした。他大学との交流や、ゴミ拾いイベント開催の第一歩となりました。（政治経済学科2年 栗田）

裂織してアップサイクルすることが好きで、今回皆さんと作れたらと思い提案いたしました。1人1人個性ある素敵な作品が作られていくのを見て、楽しみながら講師として務めさせていただきました。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。（日本文化学科4年 大山）

「好きなこと×SDGs」を活動理念に掲げる私たちは、今年度、古着が好きなメンバーの発案で、古着を回収し、再利用するプロジェクトを行いました。この回収した服を使って、来年度は裂織ワークショップや他大学とコラボしたファッションショーを計画しています。（政治経済学科2年 猪股）

※ゼロハンガーチャレンジは国連WFP協会がみなさんと途上国の子どもたちとの間で食料をつなぐ取り組みです。みなさんが食品ロスを減らすアクションを起こしてSNSに投稿すると、1投稿=120円の寄付として、国連WFP協会が途上国の子どもたちに学校給食を届けます。

Petite Arche代表
**新井 乾斗**
政治経済学部
政治経済学科　3年

今年は昨年度とは違い、新たに仲間が増え、多くの企業やボランティア団体と連携を取りながら、継続して新しい企画に挑戦した、実りの多い一年になりました。今年度はSDGsのゴール12「つくる責任 つかう責任」を中心に、古着を使ったワークショップを企画し、エコでヘルシーなクッキング動画を作成するなど、多様な視点から活動をしてきました。コロナ禍で活動が思うように進まなくなってしまう時期もありましたが、メンバー一人一人の主体的な姿勢により、乗り越えることができました。今年度だけで活動を終わらせるのではなく、SDGsのように私たちPetite Archeも「サステイナブル」な団体になっていきたいです。

Timeline of Action

## 学生団体 Petite Arche これまでの動き

2021年

- 4/13（月）～15（木）　Petite Arche ボランティア勧誘ディ参加
- 6/26（土）　ボランティア・まちづくり活動助成金審査会参加、51,000円の助成金獲得
- 7/21（水）　2021年度第1回 レバストと学食寄付メニューに関する打合せ
- 8/25（水）　ベジプロスクッキング動画撮影（9月22日完成）
- 10/10（火）　2021年度第2回 レバストと学食寄付メニューに関する打合せ
- 10/20（水）　学内に、野菜栽培のプランター、グリーンカーテン設置

- 10/29（金）　第2回 聖学院SDGsコンテストにてベジプロス動画が佳作に選ばれる
- 11/4（木）　古着回収BOX設置、11月30日（火）まで

- 11/7（日）　ゴミ拾い甲子園出場

- 11/9（火）　2021年度第3回 レバストと学食寄付メニューに関する打合せ
- 12/6（月）　学食寄付メニュー提供開始、21日（火）まで実施
- 12/8（水）　エコプロダクツ展2021にて活動紹介

- 12/14（火）　学長とPetite Arche対談

2022年

- 1/7（金）　2021年度第4回 レバストと学食寄付メニューに関する打合せ
- 12/21（火）　国連WFP協会・瀬上倫弘氏とPetite Arche座談会
- 1/13（木）　学食寄付メニュー、スープ、アップルパイの期間限定販売開始、2月4日（金）まで
- 2/15（火）　古着裂き織りリメイクワークショップ実施

### その他の活動

**2月9日（月）**

聖学院中学校1年生授業でPetite Archeの学生5名が活動紹介を実施

桶川市市民活動サポートセンター主催講演会にてPetite Archeの学生2名が活動紹介を実施